

アメリカ航空産業の現状と今後の展望

～パンデミック後における市場環境変化と LCC の経営課題～

執筆者 ワシントン国際問題研究所 次長/主任研究員 福原 和弥

一般財団法人 運輸総合研究所 ワシントン国際問題研究所 発行

序

運輸総合研究所ワシントン国際問題研究所では、2003年から毎年、定点観測的に、米国航空産業に係る様々なデータ分析を通じて、その現状と今後の展望について調査報告をしてきている。

米国の航空市場は、新型コロナウイルス感染症による影響から回復を遂げた一方、航空会社を取り巻く経営環境は、以前とは大きく様相を異にしている。ネットワークキャリアの経営は相対的に堅調に推移する一方で、2019年まで順調に成長してきたLCCが厳しい経営環境に直面している。

パンデミック後、レジャー需要の拡大やプレミアム需要の伸長、人材採用競争の激化といった市場環境の変化を背景に、LCCは運賃を十分に引き上げることができないまま、費用増に直面している。他方、ネットワークキャリアはプレミアム需要を取り込み、イールドの向上を通じて収益性を高めている。

本報告では、米国航空産業の需給状況等に関する調査結果を基に、2024年における米国航空市場の需給状況や航空会社の損益状況等について解説する。あわせて、同国航空産業を巡る最新の動きを紹介し、今後の展望について考察する。

本調査が、読者各位の業務・研究の一助となれば大変な幸いである。

最後に、本書の作成を含め、当研究所の活動に対して長年にわたり全面的にご支援を頂いている日本財団に対し、深く御礼を申し上げる。

2025年12月

運輸総合研究所 ワシントン国際問題研究所 福原 和弥

目 次

米国旅客航空企業の動向

1. 米国航空輸送需要の動向	2
(1) 米国旅客航空企業全体.....	2
(2) ネットワークキャリア.....	8
(3) LCC.....	17
2. 米国旅客航空企業の供給量の動向	21
(1) 米国旅客航空企業全体.....	21
(2) ネットワークキャリア.....	24
(3) LCC.....	33
3. 米国旅客航空企業の損益状況	37
(1) ネットワークキャリア.....	38
(2) LCC.....	64
4. 航空企業の収入構造の分析	75
(1) 運賃の適正化.....	75
(2) 付帯サービスの有料化.....	80
(3) 国際市場の強化.....	81
5. 航空企業のコスト構造の分析	83
(1) 人件費.....	83
(2) 燃料費.....	87
(3) リージョナルキャリアへの委託.....	91
(4) コスト構造の分析.....	93
(5) 今後のコスト削減の可能性.....	99
6. 最近の動き及び今後の展望	101
(1) 米国旅客航空企業の動向.....	101
(2) LCCの対応.....	101
(3) その他の最近の動き.....	103
(4) 米国航空産業における今後の展望.....	105